

地域にはばたく市民パワースタッフ！

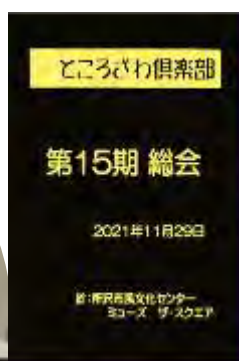


ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2021 年 12 月号 (第 154 号)

発行責任者 中原 幹男



撮影：仲山 富夫氏
梅津 博紀氏

ところざわ倶楽部 第 15 期 活動方針



明るく 楽しく 元気をとりもどしましょう！

第 15 期会長 中原 幹男

コロナに翻弄され続けた 2 年、心もからだも萎縮してしまいました。

新年度は、コロナを意識しながらコロナ前の活動を徐々に取り戻し、また、サークルとコラボして会員全体が楽しめ、高めあえる企画を実行します。

企画の成功 3 要素は、1) 内容の面白さ 2) 演者の味 3) 参加者の盛り上げ です。

3 番目については、第 11 期以来、理事と各サークル

の協力で行事参加者が増加して盛り上がり、企画運営、演者、参加者ともに満足感が増しました。この盛り上げに注目し、みんなが元気を取り戻せるように企画運営してまいります。

私が参加している“チアダンスのスピリッツ”は、「笑顔」「元気」「応援する気持ち」です。これらを念頭に、がんばろうとする人を応援し、がんばれない人にも寄りそう運営をしてまいります。

第 15 期定期総会報告

総務部長 大西 優

11 月 29 日（月）ミューズ展示室（ザ・スクエア）において、第 15 期定期総会が開催され 14 期生から 28 期生まで、および一般 1 名を含む会員 87 名の出席のもと、議事が進められました。

第 14 期 総括

佐藤会長より、コロナウイルス感染対策を講じて実施された「第 14 期活動の総括」が報告されました。

続いて、中原総務部長、森野事業部長、玉上広報部長より各部の報告後、第 14 期会計報告及び監査報告、質疑応答があったのち、満場の拍手をもって承認されました。

続いて、14 期退任理事・会計監査へ感謝の拍手がおくられ、コロナ期を含む 4 年間、当倶楽部事業の活性化に尽力され、今期退任される佐藤重松会長に、大きな拍手が送られました。

15 期の理事・会計監査候補が紹介され、満場の拍手で承認されました。

総会終了後の第 2 部は、「雅の会」18 名による雅楽と、「メイクオカリーナとその仲間たち」10 名による演奏で、ひと時、ノスタルジックな気分になりました。

第 15 期 活動方針

中原新会長より、第 15 期は「明るく 楽しく 元気を取り戻しましょう」と、当倶楽部の特長を生かして、サークルとコラボし会員全体で楽しみ、高めあえる企画を実行するとの基本方針が示されました。

続いて、松尾新事業部長からは事業計画概要が、玉上広報部長からは広報媒体の充実と Zoom ミーティングや Youtube の活用などの計画が、最後に私からは“ところざわ倶楽部まつり”の再開などを盛り込んだ第 15 期予算案を提示し、すべての議案が満場一致で承認され、定刻終了しました。

【第 15 期は次の体制で臨みます】

会員皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

役職	氏名	推薦母体	役職	氏名	推薦母体
会長	中原 幹男	地球環境に学ぶサークル	事業部担当理事	鹿嶋 伸郎	楽悠クラブ
副会長広報部長	玉上 佳彦	理事会推薦	事業部担当理事	佐野 喜代子	野老澤の歴史を楽しむ会
副会長事業部長	松尾 基昭	アジア研究会	事業部担当理事	田沼 幹子	葵の会
副会長総務部長	大西 優	所沢シニア世代地域デビュー支援の会	事業部担当理事	岩渕 雅之	28 期企画委員長
事業部副部長	梅津 博紀	理事会推薦	事業部担当理事	野口 喜美夫	29 期企画委員長
広報部副部長	小田島 禮子	理事会推薦	広報部担当理事	川上 紀春	活きいきシニア福祉の会
総務部副部長	大木 美和子	理事会推薦	広報部担当理事	浪間 扶美子	所沢の自然と農業サークル
事業部担当理事	仲山 富夫	民話の会	総務部担当理事	石堂 智士	傍聴席
事業部担当理事	薄井 文子	脳活サークル	総務部担当理事	木下 みえこ	食を通して所沢を知る会
事業部担当理事	園田 ヒロ子	理事会推薦	総務部担当理事	茂出木 正和	理事会推薦
事業部担当理事	内川 賢治	懐かしの映画・鑑賞会	会計監査	岡崎 久子	理事会推薦
事業部担当理事	高橋 信行	ドラマティック・カンパニー	会計監査	田口 元也	理事会推薦

退任理事：佐藤重松、森野辰夫、岡崎久子、水上俊彦、西郡貢、栗屋貴夫 退任会計監査：遠山とも子

事業部活動方針(第15期)

事業部長 松尾 基昭

今年度の活動は、コロナ感染問題も第5波からの収束傾向を受け社会に安堵感の漂う昨今ですが、まだまだ油断できる状況になく、感染予防対策に用心しながらの「WITH コロナ」を意識した運営を心掛けていく必要があると考えています。

そうした中でも、今年度は会長方針の「明るく、楽しく、元気をとりもどす」活動に徐々に注力していきます。具体的には、心と身体の健康を意識したイベントとして、2月下旬に新入会員の懇親会を兼ねての「健康増進セミナー」の開催や、昨年度取り組んだアウトドア企画を含む各サークルとの連携活動を一層推進し、会員間の懇親の場を広げていきたいと思っています。

従来より、好評の一般の方も対象とした「文芸講座」や「時局講演会」にも会員の皆様の期待に応えられる内容の充実した企画を提案します。

又、「ところざわ倶楽部まつり」の再開についてもコロナの感染状況を鑑み開催を検討したいと考えているところです。ただ、企画・活動の成否については、「参加者の盛り上がり」も重要な要素になってきます。

今年度の会員皆様の活動方針へのご理解と積極的なご参加・ご協力を心よりお願い申し上げます。

広報部活動方針(第15期)

広報部長 玉上 佳彦

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ① 学習活動の継続 ② 会員相互の親睦
③ 学びを地域に活かす ④ ネットワーク作りを念頭に
ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」
とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信を
継続していきます。

2. 広報紙「広場」

昨年3月号から新シリーズとして「世界の平和を考える」が始まり、特別会員の先生にも参加していただいています。新年度も約半数の女性会員に編集委員として参加していただいております、より新鮮な企画・運営を進めて参ります。

3. 新たな活動様式の模索

新しいネット世界に対応した活動として、Zoom会議やYoutubeなどをフルに活用できる体制を考えます。今後もパソコン相談会は定期的に継続して、皆様のPCスキルの向上を応援していくことを考えています。

4. ホームページのコンテンツの充実をめざし、多くの 方々の投稿や情報を受け入れ、発信を心がけていきま す。

第15期 編集委員(15名)の紹介

氏 名	担 当
中原 幹男	会長／発行責任者
玉上 佳彦	広報部長・HP 担当
小田島 禮子	広報部副部長
川上 紀春	広報部理事
浪間 扶美子	広報部理事
原田 一成	企画編集担当
岩瀬 真弓	企画編集担当
園田 ヒロ子	企画編集担当
新井 智子	企画編集担当
稲村 洋二	企画編集担当
佐藤 重松	企画編集担当
八木 雅子	企画編集担当
大木 美和子	企画編集担当
大西 優	総務部長として参加
松尾 基昭	事業部長として参加



環境問題シリーズ 第14章

日本の農作物は農薬漬け、食べて大丈夫？

地球環境に学ぶサークル 小田原 一博

(1) 地球環境に学ぶサークルで、日本は農薬過剰使用であることを知りました。日本に旅行する外国人に配られるパンフレットに、「日本は農薬使用が多いので、日本では野菜は食べないように」と旅行会社が注意喚起しているそうです。

(日本農業再生論「自然栽培」革命で日本は世界一になる！ 高野誠鮮、木村秋則 討論集 より)

(2) サークルの読書会で読んだ堤未果(ジャーナリスト)著「日本が売られる」によると、日本は中国、韓国に次いで農薬使用量が多いようです。日本の食糧は世界に誇る安全なものと、根拠もなく信じていた私としては大変な驚きです。

(3) 9月にサークルメンバーの勧めで「食の安全を守る人々」という映画を鑑賞しました。山田元農水大臣・弁護士が出演・監修した映画は、WHOが発がん性を認めたグリホサートを主成分とする除草剤ラウンドアップに関する内容で、米国から輸入した作物に多く残留していることを問題視しています。

(4) もっと農薬の実態を調べようと鈴木宣弘(東大教授)著「農業消滅」を読みました。2020年12月のNHKクローズアップ現代にも出演され、ラウンドアップの問題を訴えています。米国の小麦、大豆の農家は除草目的だけではなく、ラウンドアップを作物自身に散布して枯らした状態で効率よく収穫しています。しかし日本は規制するどころか、米国の要求でグリホサート摂取限界を6倍に上げました(2017年)。このため米国から輸入した小麦、大豆を用いたパンや豆腐に多く残留しています。韓国の学校給食は自国産小麦パンに切替えました。日本でも問題視されていますが、米国産小麦を用いたパンの学校給食はまだ規制されてません。



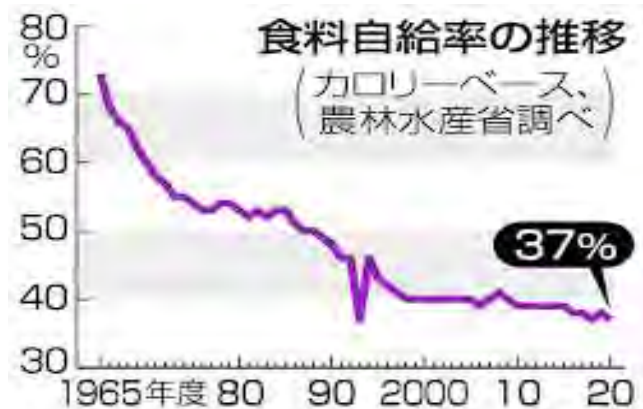
(5) 近所のホームセンターで調べたところ、ラウンドアップと表記された除草剤が多数陳列されていました。庭の除草程度に使うならまだしも、家庭菜園の作物にまく人はいないと思いますが……。



農水省、学者、農薬業界は「一部の環境過激派が問題視するだけで、適正使用すれば心配ない」という見解です。原発の安全神話を作った「原子カムラ」と同じ構造の「農薬ムラ」が想起されます。

(6) 問題は、国内で農薬を適正使用しても、米国から輸入する小麦、大豆は農薬漬けです。それどころか、鈴木教授によると、米国は米国内で食べる作物は無農薬化を進めているが、日本輸出用の作物は農薬漬けとのことです。欧州は早くから米国の農薬漬け作物の輸入を禁止しています。欧州に農作物を大量輸出しているタイは欧州規制に従って無農薬化を進めています。

(7) 日本の食料自給率は極めて低く 37%です。農薬摂取を避けるには、高くても国産の無農薬作物を食べるか、農薬漬け輸入品を買わない、という意識改革が必要です。ラウンドアップ以外にも、神経毒性ネオニコチノイド農薬、安全性不明な遺伝子操作品、成長ホルモン投与した牛肉等、米国産品は要注意です。



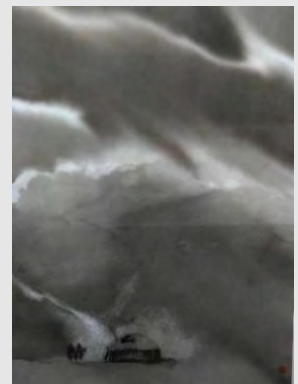
紙上作品展



リトグラフ「N子」
鈴木 安弘



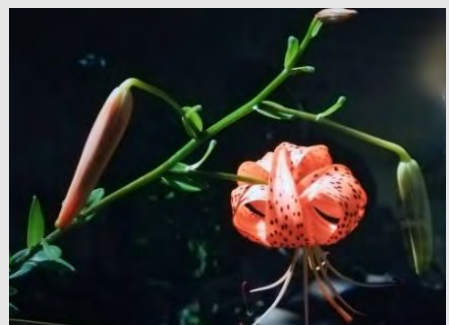
写真「雨の夕暮れ」
梅津 博紀



水墨画「悠久の旅」
道江 義頼



写真「自転_さきたま古墳」
原田 一成



写真「我が家のオニユリ」
森井 茂吉

コロナ禍は故郷を遠く追いやった

丘の河童

お出かけは今日も快傑マスクマン

庵閑子

マスク顔コロナ美人に変身だ

詔 笛

紅葉狩りとなりの人は選べない

海さどろ

イイんだね寂聴が言う老いの恋

実拍子

絵画より君の心を描きたい

どうし

古女房ひと言聞けば十を知る

りんご好き

川
柳



サークル活動報告

コロナ禍の活動について

野老澤の歴史を楽しむ会
小倉 洋一



今年度も昨年度に引き続きコロナ禍のなか緊急事態宣言に翻弄されてきました。

感染対策に十分注意して、年間 20 数回の活動を目標に屋内での講義や屋外での散策等、所沢の歴史を多面的に捉え探求しています。

今年度は 20 回の計画としましたが、講師との日程調整や、施設見学の中止などで、計画は再々練り直しとなり、12 回の活動となりました。

9 月の宣言解除に伴い、10、11 月の屋外の活動を、近隣での「狭山不動尊&狭山湖堰堤を歩く」「北岩岡太陽光発電所見学」「平林寺の紅葉」、3 回を早急に選定。

屋内の活動は、総会と明治大学名誉教授の渡辺先生による講義の 2 回です。先生には 2013 年から講師をお願いして学んでいます。

講義内容は、明治維新史を中心として古代から現代までおよんでいます。講義後は先生を囲んでの懇親会があり講義の質問などを受けるなどで、歴史への関心が高まっています。しかし、コロナ禍で懇親会は中止となっています。

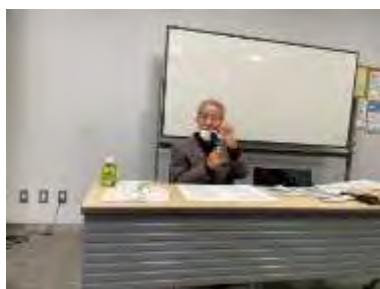
今後、一日も早い日常が戻ることを願っています。

6 月、ところざわ倶楽部の提案を受けた SDGs の取り組みは「人生 100 年時代」と言われる昨今、心身ともに健康な生活が求められています。これらを促進するため、年間 20 回の活動を持続化可能な目標としました。



季節のうつろいと共に

所沢の自然と農業
稲村 洋二



先日トトロのふるさと財団評議員の佐藤八郎氏の講演会を開催しました。佐藤さんはところざわ倶楽部の

創設者のひとりで初代ところざわ倶楽部会長をつとめられました。トトロのふるさと財団の活動に早くから携われ、長く里山部会の部会長として活躍されました。今年 6 月に部会長を退任されトトロ財団の評議員として引き続き運営に携わっておられます。講演の中で強調されたのは①トトロの森を散策しながら森に生きる動植物を通して森を楽しもう②トトロの森が直面する危機と森を将来に残す努力についてです。特にカシノナガキクイムシの被害について危機的状況に直面しており所沢の雑木林

全体に深刻な影響を及ぼすことになるかと警鐘を鳴らしておられます。将来に緑の狭山丘陵を残すのは今生きる我々の責任であると語られました。

我々のサークルは季節のうつりかわりを感じながら活動しています。今年は 1 月の落ち葉掃きに始まり 4 月の花見ハイキング、新茶の茶摘み、5 月の信州高山村のリンゴ農家支援活動（今年は中止）6 月のメンバーによる料理実習、8 月のブルーベリー狩り、10 月の秋の紅葉ハイキング。そして春と秋の市大ファーム・山田ファームで丹精こめて栽培した野菜で収穫祭を開催し、講演会は 2 回でした。来年の活動計画をつくるのがたのしみです。一年の活動を通して会員メンバーがそれぞれの居場所を見つけて引き続き楽しく健康に活動を続けていきたいと思っています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

1月13日(木)中央公民館8・9号室 13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義 万葉集⑩、15:40～16:30、例会・後片付け
 予定 2月10日(木)中央公民館 13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義 万葉集⑩、15:40～16:30、例会・後片付け
 聴講者 歓迎！

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

12月22日(水) 中央公民館8・9号室 定例会、定期総会
 テーマ：EV 市場問題、中国のEV 状況報告
 1月19日(水) 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ：講演会「中国経済は強い～そのシステムとポストコロナの世界経済」 講師：古島義雄氏(国際経済研究者)

3. 活きいきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

12月22日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
 「所沢市社会福祉協議会の活動」について学ぶ
 講師 コミュニティソーシャルワーカー 竹澤 栄治氏
 1月26日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

12月7日(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9 学習室
 前半；楽悠クラブ総会、
 後半；音楽鑑賞「特集：年忘れシリーズ」
 1月11日(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9 学習室
 ブッチーニ歌劇「ラ・ボエーム」

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

12月21日(火)10:30～ むい食堂(04-2994-4893) 定期総会
 ◇白ワインのお話・寫田良彦氏 ◇朗読・岡部まさ子氏
 1月18日(火)11:30～14:00 離宮(04-2924-3111) 定例会・新年会

6. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

12月21日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室1号
 定例会 ①環境討論会: COP26 決議事項 ②持寄り環境情報 ③他
 1月18日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室1号
 定例会 ①環境討論会: ②持寄り環境情報 ③他
 ＊別途 毎月読書会を開催

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

1月12日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号
 定例会 「今年の抱負を語ろう！」
 (SP スマイルパイレーツ 役員会・練習日)
 12月11日(土)13:30～14:45 中央公民館 3階 8・9号室
 12月25日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

12月9日(木)13:00～15:00 新所沢公民館1号室 定例会
 12月16日(木)9:00～11:00
 12月21日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 12月24日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 1月8日(土) 陽子ファームの落ち葉掃き

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

12月16日(木) 2021 年度定期総会 13:15 開場
 生涯学習センター1階多目的室

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

12月18日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号
 シェイクスピア戯曲朗読(ヘンリー八世)
 1月8日(土)、22日(土)10:00～12:00
 中央公民館

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

12月14日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 邦画「サラリーマン忠臣蔵」(' 60年) 忠臣蔵の現代版
 ⇒年末最後の上映会・来年の上映計画・イベントの紹介
 1月25日(火) 新春上映会 / イベント: 蘭玉飾り

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

12月20日(月)10:00～11:30 中央公民館・音楽室
 「音楽療法で楽しく脳活」講師：佐井佳代子様
 ※参加人数に若干のゆとりがあります。友人お誘いOK
 1月17日(月)「落語鑑賞会」国立演芸場にて落語鑑賞
 集合時間、場所など詳細は会員に後日ご連絡

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

12月20日(月)新所沢東公民館 研修室1号定員15名
 「長期テーマの検討」を予定。長期テーマの討議と決定の後、
 グループ選択の実施。
 1月17日(月)「総会」を予定。

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

12月17日(金)10:00～13:00 新所沢公民館2階 4号室
 総会 15期活動計画作成
 15期民話の会の活動紹介文作成 (HP掲載用)
 1月21日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館1階
 定例会

理事会報告

11月5日(金) 第14期会計の監査を行いました。
 11月8日(月) 第11回理事会を新所沢公民館にて開催しました。
 ・第15期定期総会に向けて審議
 第14期総括、各部活動報告、決算報告、第15期活動方針、活動計画、予算案、退任役員7名、新任役員6名、役職確認。
 総会当日の開催要領を確認。理事会終了後新旧役員懇親会実施。

11月29日(月) 第15期定期総会を開催しました。
 ミューズ展示室「ザ・スクエア」出席 87名
 ＊欠席者へは、総会資料・振替用紙を発送しました。
 倶楽部年会費は、主としてサークル単位で集めます。ご協力をお願いいたします。
 第15期第1回理事会予定 12月13日(月) 中央公民館8・9号

みんなの広場 第34回

傍聴席 村瀬 隆



音楽との出会

40代半ばに突然大病を患い、長期の入院生活を送っていた時、先輩から「大峡谷」のカセットテープを差し入れて頂きました。それまで音楽には殆ど縁がなく、カセットデッキも持っていませんでした。

退院後すぐに家電ショップへ行き、オーディオ機器をあこれ買い揃え、店長から「これだけ揃えば文句のつけようがありません」と妙な太鼓判を押された次第です。

その後、聴くだけでは飽き足らず、地元の「所沢で第九を」の合唱に参加したところ、ステージでの高揚感が病み付きになって結局15回位出演したでしょうか（笑）。時にはオーディションを経験したり、都内の「第九」の合唱に参加したり・・・。

また、イタリアを訪れた際にレストランやゴンドラで朗々と歌われたカンツォーネに魅了され、帰国後音楽教室に通い、恐れ多くもアマチュア声楽コンクールに挑戦したり、果てはカラオケにも手を出す始末でした。

今思えば、1本の音楽テープがきっかけで、人生の後半に音楽という彩りを添えることができ、音楽と共に楽しく過ごせているのは幸せの一言です。人生、何が転機になるか判りませんね。

むさし野俳句会（令和三年十二月）作品抄

冬浅し木の間を昇る朝の光（かげ）	海老澤愛之助	ハーメルンの笛の音にあふ冬の月	中嶋 弘子
里芋の味よふるさと所沢	小林 貞夫	若者の戻らぬ村や木守柿	橋本 佑子
足場組む腰の工具に冬日差す	小林 典子	「運命」振る巨匠九十四秋澄めり	平栗 彰子
里富士の古びし歌碑や草紅葉	佐藤 八郎	初デート秋夕映えの観覧車	宮本 信生
ドローン飛ぶビルの谷間に木守柿	白神 恵子	茶の花や昼餉武蔵野かてうどん	荒幡千鶴子
東（ひんがし）の空は茜に神の旅	高梨 千代	長嶋の胸に勲章小六月	井出 昇
団栗の踏み処なき小径かな	利根川 啓一	空青し小豆ほどなる冬木の芽	鈴木 征子

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者にご照会下さい。

連絡先 佐藤（八） 2948-8247 中嶋 2994-6045 海老澤 2922-0259

《編集後記》

今年もあとひと月たらずとなりました。ところざわ倶楽部の広報紙「広場」に携わってほぼ2年経ちました。この間、殆どコロナ禍で自粛ムードでの活動でしたが、皆様の努力で持ちこたえられた感があります。

色々分かってきたことも多々あり、一息つけるかと思いきや、この混乱はもっと長く大きな危機の前兆の予感がします。環境危機や格差社会の助長など今までもこれからもすべては経済から・・・が人類の幸福を台無しにしてる事だと思います。経済は行き着く先など見当たらず、人生は束の間・・・

当たり前のことですが、人と人のつながりが如何に大事かを今回、身に染みて感じたことです。

是非、ところざわ倶楽部にて

“明るく、楽しく、元気”を実現へ!!

老いても、次の新しい世界を夢見るこの頃です。

（小田島：記）

川柳「六十八」 作品発表選 中島峯生

課題「生まれる」

泣かないで生まれた自分八十に
まだいける昭和生まれの底力
戦後派に生まれてラッキー平和ボケ
物もらいお返しごとに輪が生まれ
障子張りピタツと決まる三枚目
お互いに初恋だったニキビ顔

「自由題」

笠地蔵ダウンコートも似合いそう
たそがれて病院ロビーで癒される
おいしいね元をたどれば義母の味
まとめ買い財布は軽く肩ずしり
老けたなーみんなに会えてZOOM会
上手くいくはずがなぜなの下り坂

海	詔	ど	縄	突	り	ど	庵	り	縄	突	詔
さ	う	ん	文	拍	ん	う	閑	ん	文	拍	子
と	し	ご	人	子	ご	し	子	ご	人	子	笛
る	笛	好			好			好			

次回（第69回）課題「飲む」そして「自由題」

締切り日：12月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)